

政策 目標	重点 課題	頁	主 要 事 業	所 管 部
1. 子どもの笑顔があふれる街				
子どもを生き育てやすい環境づくり				
	P2		5歳児健康相談事業	保健所
	P3		旧真駒内緑小学校の再利用	子ども育成部 子育て支援部 都市計画部
	P4		多様な保育サービスの提供	子育て支援部 学校教育部
	P5		私立保育所整備費等補助金	子育て支援部
	P6		保育ニーズコーディネート事業	子育て支援部
子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実				
	P7		札幌市立中高一貫教育校の設置	生涯学習部 学校教育部
	P8		不登校児童対策関連	学校教育部
	P9		教育支援センター設置事業	学校教育部

5歳児健康相談事業【新規】

保)保健所

(単位：千円)

目的

3歳児健診から就学時健診までの間に、発育・発達の確認や支援、児童虐待の発見・予防、就学に向けた相談等、切れ目のない母子保健サービスを提供

事業内容

[事業費：22,230千円]

5歳児健康診査：身体計測、内科診察、歯科健診、視聴覚チェック、保健・栄養・心理相談

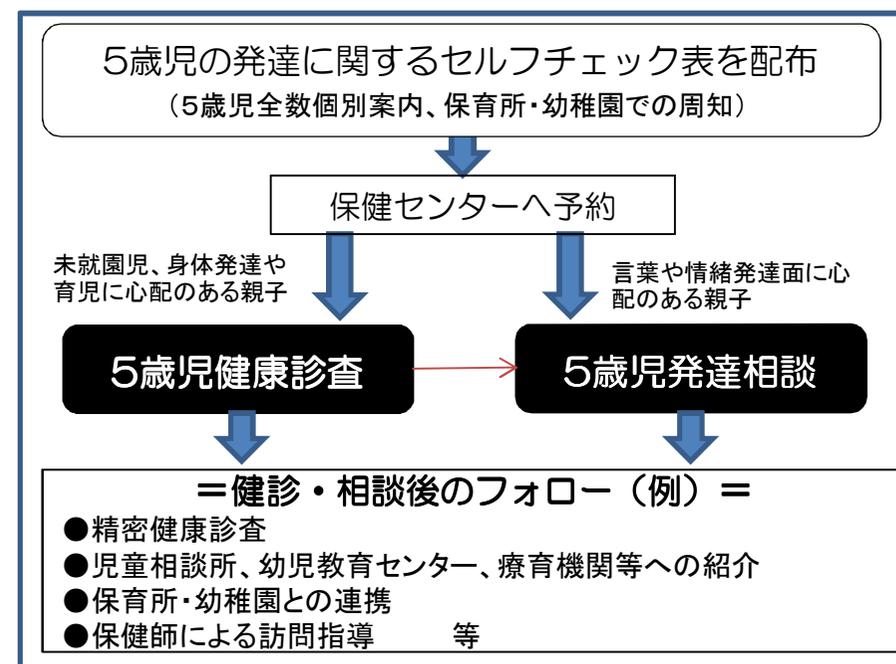
5歳児発達相談：言葉や情緒発達面の個別相談、適切な機関への紹介

・健診、発達相談従事者報酬	8,362千円
・検査機器等	5,447千円
・母子保健情報システム改修費等	3,982千円
・指導用教材、事業周知等	3,633千円
・研修費等	806千円

スケジュール

- 平成25年10月～平成26年2月：5歳児健康診査、5歳児発達相談の実施体制、スクリーニング方法等について検討
- 平成26年3月～9月：母子保健情報システムの改修、乳幼児健診マニュアルの作成、事業周知 等
- 平成26年10月：事業実施

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	0	22,230	15,300	-
(うち一般財源)	(0)	(22,230)	(15,300)	-
査定の考え方	【財政局査定】 受診人数の精査等(▲6,930)			



～子どもの笑顔があふれる街～

旧真駒内緑小学校の再利用

子)子ども育成部、子育て支援部
市)都市計画部

目的

学校跡施設を暫定活用し、子育て環境の充実・強化と地域コミュニティの維持・向上を図る。26年度は跡施設の耐震・改修工事等を実施

スケジュール

- H25 耐震・改修設計等
- H26 耐震・改修工事等
- H27 開設・貸付開始

(単位：千円)

	H25予算	H26予算			
		要求額	財政局査定額	最終査定額	
①	事業費	7,977	154,953	114,800	-
	(うち一般財源)	(7,267)	(150,461)	(110,412)	-
②	事業費	3,776	89,128	69,000	-
	(うち一般財源)	(3,569)	(88,610)	(68,513)	-
③	事業費	6,639	87,931	66,200	-
	(うち一般財源)	(4,703)	(83,140)	(61,693)	-
査定の考え方		【財政局査定】 ①工事費等について過去実績等に基づき精査(▲40,153) ②工事費等について過去実績等に基づき精査(▲20,128) ③工事費等について過去実績等に基づき精査(▲21,731)		①特定財源 国庫支出金 4,388 ②特定財源 国庫支出金 487 ③特定財源 国庫支出金 4,507	

① 子どもの体験活動の場整備

[事業費：154,953千円]

子どもの自主的な体験機会の提供と多世代交流・地域連携の場の整備

延床面積 2,243㎡

・耐震改修工事費等 154,953千円

② 区保育・子育て支援センター整備

[事業費：89,128千円]

3歳未満児を対象とした小規模保育事業と常設の子育てサロンを設置した(仮称)南区保育・子育て支援センターの整備

延床面積 405㎡

・耐震改修工事費等 89,128千円

③ 真駒内駅周辺の地域連携先導事業

[事業費：87,931千円]

市立大学によるまちづくり拠点スペースの整備及び地域と連携したまちづくり等の事業を条件に民間事業者へ貸付

延床面積 3,745㎡

・耐震改修工事費等 87,931千円

(単位：千円)

目的

保育所入所待機児童の解消や多様なニーズに応じた保育サービスの提供のため、幼稚園や認可外保育施設の運営を支援

①幼稚園保育サービス関係

[事業費：348,662千円]

保育サービス実施園の拡大や保護者の負担軽減、利便性の向上などを図るための幼稚園の活用を推進

- ①-1. 幼稚園保育室運営支援事業費補助
211,488千円
- ①-2. 私立幼稚園預かり保育運営支援事業費補助
108,276千円
- ①-3. 幼児教育センター関係事業
(市立幼稚園預かり保育)
28,898千円

	H25予算	H26予算			
		要求額	財政局査定額	最終査定額	
①	事業費	97,934	348,662	256,048	-
	(うち一般財源)	(97,934)	(101,715)	(157,705)	-
②	事業費	160,650	215,333	193,836	-
	(うち一般財源)	(92,484)	(134,180)	(130,315)	-
③	事業費	147,756	319,615	301,435	-
	(うち一般財源)	(101,901)	(188,621)	(167,871)	-
査定の方		【財政局査定】			
		①補助金額等の精査(▲92,614)		①特定財源	
		②補助金額の精査(▲21,497)		国庫支出金	76,104
		③補助及び委託金額の精査(▲18,180)		使用料	22,135
				諸収入	104
				②特定財源	
				道支出金	63,521
				③特定財源	
				国庫支出金	112,452
				道支出金	21,107
				諸収入	5

②さっぽろ保育ルーム運営支援事業費補助

[事業費：215,333千円]

認可外保育施設の保育の質の向上や保護者の負担軽減を図るため、一定の基準を満たす施設を認定し、運営費の一部を補助

③家庭的保育・小規模保育

[事業費：319,615千円]

多様化する保育需要に対応するため、定員6～19人の小規模保育への支援や少数のグループによる家庭的保育を実施

- ③-1. 家庭的保育事業 178,947千円
- ③-2. 小規模保育事業 140,668千円

私立保育所整備費等補助金

子)子育て支援部

目的

増加する保育需要に対応するための私立保育所の定員増や老朽化した施設の改善のための補助

事業内容

[事業費：2,023,121千円]

私立保育所の新築、増改築、賃貸物件を活用した整備等に対し補助を行い、保育所定員を1,180人増

- ・新築（720人） 977,638千円
- ・増改築等（130人） 678,895千円
- ・私立認定保育所（90人） 171,588千円
- ・本園賃貸物件（240人） 195,000千円

整備予定及び実績

- ・平成23年度：定員1,190人増
 - ・平成24年度：定員1,209人増
 - ・平成25年度：定員1,230人増（予定）
 - ・平成26年度：定員1,180人増（予定）
- 合計 4,809人増

(単位：千円)

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	2,956,398	2,023,121	2,017,000	-
(うち一般財源)	(89,358)	(63,797)	(63,111)	-
査定の考え方	【財政局査定】 補助金額の精査(▲6,121)			特定財源 道支出金 1,792,889 市債 161,000

【私立保育所整備内訳】

	規模(人)	整備箇所数	定員
新築	60	3	180
	90	6	540
増改築等	60→90	1	30
	90→120	1	30
	110→140	1	30
	120→150	1	30
	120→130	1	10
私立認定保育所	30	1	30
	60	1	60
本園賃貸物件	60	4	240
計		20	1,180

保育ニーズコーディネート事業

子)子育て支援部

(単位：千円)

目的

子育て世帯の保育ニーズに合わせた多様な保育サービスの情報提供や利用調整を行い、**保育所待機児童の解消を促進**

事業内容

[事業費：28,240千円]

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	8,819	28,240	28,240	-
(うち一般財源)	(8,819)	(28,119)	(9,293)	-
査定の考え方	【財政局査定】 国庫補助制度の変更による特定財源の増			特定財源 国庫支出金 9,413 道支出金 9,413 諸収入 121

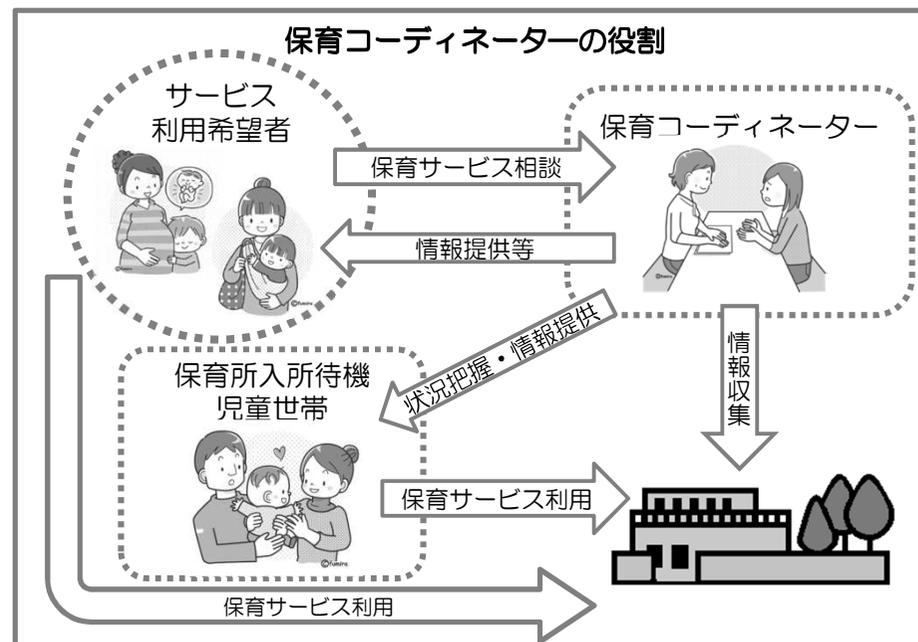
各区に配置されたコーディネーターが、以下の業務を実施

- ・家庭的保育（保育ママ）、さっぽろ保育ルーム、幼稚園預かり保育、幼稚園保育室など、多様な保育サービス※を希望する世帯への情報提供及び利用調整
- ・保育所入所待機児童世帯の状況把握（アフターフォロー）
- ・多様な保育サービスに関する情報収集
- ・地域の保育ニーズの把握

保育コーディネーターの業務時間

勤務日		月曜日	火曜日～金曜日
勤務時間	午前	10時～12時15分	
	午後	13時～16時45分	13時～16時30分

(土曜日、日曜日、祝日、年末年始は休み)



※多様な保育サービス・・・認可保育園以外の保育サービス

(単位:千円)

目的

平成27年度に開校する市立札幌開成中等教育学校の開校準備を進めるとともに、課題探究的な学習などの取組を通して、創造性や国際感覚豊かな人材を育成する新たな学習モデルを研究・実践し、「生涯にわたって学び続ける力」を育成

①札幌市立中等教育学校開校準備事業

[事業費：3,627,498千円]

北海道札幌開成高等学校を全面改築のうえ、改編し、平成27年度に中等教育学校を設置

- ①-1. 学校新築（校舎等の工事） 3,553,455千円
- ①-2. 市立中等教育学校開校準備 34,526千円
- ①-3. 単位制支援システム構築 39,517千円

【スケジュール】

平成25年～27年 新校舎・講堂・渡り廊下建設工事
平成27年 市立札幌開成中等教育学校開校

市立札幌開成中等教育学校における「学び」

『一斉講義型学習（受動的な学習）』
『知識を暗記・理解する学び』

学習スタイルの転換

『双方向型の共同学習（能動的な学習）』
『答えを自ら導き出す学び』

- ・ IBカリキュラム（課題探究的な学習を推進する仕組み）
- ・ ICT環境の整備（探究をサポートする環境）

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
① 事業費	1,023,000	3,627,498	3,400,500	-
(うち一般財源)	(672,065)	(2,770,055)	(2,543,057)	-
② 事業費	0	50,548	35,000	-
(うち一般財源)	(0)	(49,201)	(34,709)	-
査定の考え方		【財政局査定】 ①②過去実績に基づき精査 ①▲226,998 ②▲15,548		①特定財源 国庫支出金 456,443 市債 401,000 ②特定財源 諸収入 291

②新たな学習モデル研究事業【新規】

[事業費：50,548千円]

充実した課題探究的な学習や生徒の主体的な学びを実現するため、国際標準の教育プログラムであるIBカリキュラムを活用し、併せて情報通信（ICT）機器を利用できる教育環境を整備

- ・ IBカリキュラム関連 20,222千円
- ・ ICT環境の整備 30,326千円

～子どもの笑顔があふれる街～
不登校児童対策関連

教) 学校教育部

目 的

不登校の子どもたちの社会的自立を支援するため、保護者や子どもが早期から不安や悩みを相談できるように教育相談体制を拡充するとともに、子ども一人一人にきめ細かな支援ができるよう環境整備や人的支援を実施

(単位:千円)

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
① 事業費	0	63,524	57,000	-
(うち一般財源)	(0)	(63,458)	(56,934)	-
② 事業費	0	3,030	3,030	-
(うち一般財源)	(0)	(2,020)	(2,020)	-
③ 事業費	0	1,036	1,036	-
(うち一般財源)	(0)	(691)	(691)	-
査定の考え方		【財政局査定】 ①過去実績に基づき査定(▲6,524) ②③要求のとおり		①特定財源 諸収入 66 ②特定財源 国庫支出金 1,010 ③特定財源 国庫支出金 345

【総事業費】

25年度:47,500千円→26年度106,979千円

①心のサポーター配置
モデル事業

[事業費:63,524千円]

全ての市立中学校への配置を目的に心のサポーターを増加するとともに、心のサポーター主任を小学校へ追加配置

- ・心のサポーター配置(57校) 46,284千円
25年度 40校→26年度 97校
- ・心のサポーター主任配置(5人) 13,327千円
25年度 5人→26年度 10人
- ・事務用消耗品費等 3,913千円

【総事業費】

25年度:216,683千円→26年度211,443千円

②スクールカウンセラー
(SC)活用事業

[事業費:3,030千円]

子どもや保護者が早期にカウンセリングを受けられる体制を整備するため、SCの小学校への配置時間を増加

- ・小学校の配置時間(3時間) 3,030千円
25年度 51時間→26年度 54時間

【総事業費】

25年度:7,322千円→26年度8,328千円

③スクールソーシャル
ワーカー(SSW)活用事業

[事業費:1,036千円]

学校のみでは解決困難な事案に関係機関と連携して対応するため、専門的知識・経験を有するSSWの体制を強化

- ・学校への配置(1人) 1,036千円
25年度 7人→26年度 8人

教育支援センター設置事業

教)学校教育部

(単位:千円)

目的

不登校の子ども一人一人の状況に応じた丁寧な支援体制の構築

事業内容

[事業費: 26,374千円]

自分の「居場所」を学校環境にもつことが難しい不登校児童生徒の支援施設を設置

- ・ 人件費 17,433千円
- ・ 施設維持管理費(賃借料) 1,913千円
- ・ 備品費、消耗品費 7,028千円

スケジュール

- ・ 平成24年度 制度設計・1か所目開設準備
- ・ 平成25年度 教育支援センター白石を設置
教育支援センター白石の実証的検証
- ・ 平成26年度 2か所目開設準備
教育支援センター2か所の実証的検証

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	14,500	26,374	25,000	-
(うち一般財源)	(14,500)	(26,303)	(24,929)	-
査定の考え方	【財政局査定】 過去実績に基づく精査(▲1,374)			特定財源 諸収入 71

